

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 21 日 (2008.2.21)

【公開番号】特開 2002-209038 (P2002-209038A)
 【公開日】平成 14 年 7 月 26 日 (2002.7.26)
 【出願番号】特願 2001-1278 (P2001-1278)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 E

B 4 1 J 29/38 Z

H 0 4 N 1/04 1 0 7 B

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 1 月 8 日 (2008.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像を読み取る画像読取手段と、読み取った画像を記録紙に形成する画像形成手段とを有する画像形成装置であって、前記画像形成手段内の温度を検知する温度検知手段を備え、前記画像読取手段と前記画像形成手段とが同時動作中に前記温度検知手段が検知した温度が所定値を超えた場合に、前記画像読取手段と前記画像形成手段の同時動作を禁止することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】 画像を読み取る画像読取手段と、読み取った画像を記録紙に形成する画像形成手段とを有する画像形成装置であって、前記画像形成手段内の温度を検知する温度検知手段と、前記画像読取手段の動作クロック周波数を制御する制御手段を備え、前記制御手段は、前記画像形成手段が画像形成処理を実行中に前記温度検知手段が検知した温度が所定値を超えた場合に、前記画像読取手段の動作クロック周波数をより低くすることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】 前記温度検知手段は前記画像形成手段内の CPU を搭載した制御基板の周囲温度を検知することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】 前記制御手段は、前記画像読取手段の動作クロック周波数をより低くしても、前記温度検知手段が検知した温度が所定値を超えていることに応じて、前記画像形成手段をより低いクロック周波数で動作させることを特徴とする請求項 2 記載の画像形成装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像読取装置から入力された画像情報を画像書込装置により記録媒体に書き込む画像形成装置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

本発明は上記のような問題点に鑑みてなされたもので、その目的は、複数の動作速度の異なるリーダがプリンタに接続された場合でも、プリンタ部に搭載された温度検知手段で動作中の温度を読み取り、その読み取り値に応じてプリンタ部とリーダ部の同時動作を制限したり、あるいはまたそれらの動作クロック周波数を低くすることで、装置内部の温度上昇レベルを所定の値以下に抑えられる画像形成装置を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明では、画像形成装置を次の（１）ないし（４）のとおりに構成する。

（１）画像を読み取る画像読取手段と、読み取った画像を記録紙に形成する画像形成手段とを有する画像形成装置であって、前記画像形成手段内の温度を検知する温度検知手段を備え、前記画像読取手段と前記画像形成手段とが同時動作中に前記温度検知手段が検知した温度が所定値を超えた場合に、前記画像読取手段と前記画像形成手段の同時動作を禁止する画像形成装置。

（２）画像を読み取る画像読取手段と、読み取った画像を記録紙に形成する画像形成手段とを有する画像形成装置であって、前記画像形成手段内の温度を検知する温度検知手段と、前記画像読取手段の動作クロック周波数を制御する制御手段を備え、前記制御手段は、前記画像形成手段が画像形成処理を実行中に前記温度検知手段が検知した温度が所定値を超えた場合に、前記画像読取手段の動作クロック周波数をより低くする画像形成装置。

（３）前記温度検知手段は前記画像形成手段内のＣＰＵを搭載した制御基板の周囲温度を検知する前記（１）または（２）記載の画像形成装置。

（４）前記制御手段は、前記画像読取手段の動作クロック周波数をより低くしても、前記温度検知手段が検知した温度が所定値を超えていることに応じて、前記画像形成手段をより低いクロック周波数で動作させる前記（２）記載の画像形成装置。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】